

デイリー・ジーザス・ニュース #358

天国におけるイエスの永遠の奉仕

復活したイエスの永遠の未来にわたる言葉と働き

イエスはペルガモの教会に語りかける。

そして耳を傾けるすべての信者たち

黙示録2.12-17

=====

12」私はあなたに命じます。ペルガモにある教会の使者に書き送ってください。

」鋭い両刃の剣を持つ方がこう言われる。

13」わたしはあなたがたが住んでいる場所を知っている。そこにはサタンが王座を置いている。しかし、あなたはわたしの名を守り続け、わたしの忠実な証人アンティパスが、サタンが住んでいるあなたの町で殺された時でさえ、わたしへの信仰を捨てなかった。

14しかし、あなたがたに対して非難すべき点が少しあります。あなたがたの中には、バラムの教えを固く守っている人がいます。バラムはバラクに、イスラエル人の前につまずきの石を投げるように教えたので、彼らは偶像に供えた肉を食べ、不品行を行うようになりました。15 また、ニコライ派の教えを固く守っている人もいます。

16それゆえ、わたしはあなたに命じる。悔い改めよ。さもないと、わたしはすぐにあなたのところへ行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦うであろう。

17」耳のある者は皆、御霊が諸教会に告げることを聞くように命じる。勝利を得る者には、隠しておいたマナを与える。また、その者に白い石を与える。その石には、それを受ける者だけが知る新しい名が刻み込まれている。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マールク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

コンテキストダイジェスト

位置	トルコ沖のギリシャのパトモス島
タイムライン	イエスの昇天から約60年後
イエスの生涯の文脈	第9段階：イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの永遠の奉仕
	復活したイエスの永遠の未来にわたる言葉と働き
タイトル：	イエスはペルガモの教会と、耳を傾けるすべての信者に語りかける

イエスはペルガモンの教会を称賛し、部分的にしか叱責しませんでした。この教会へのイエスのメッセージは、おそらく最も理解しにくいものです。なぜなら、イエスが語った1世紀には一般的だった概念のいくつかは、現代世界と彼らの世界の間に多くの文化的変化の中で失われてしまったからです。しかしながら、この箇所ではイエスが伝えた主要な考えは、今日の私たちにも明らかです。この短い手紙の4つのセクションそれぞれで、イエスが何を語ったかを改めて確認してみましょう。

(1) イエスは、ご自身が神の言葉という鋭く両刃の剣を持つ者であることを示されました(3.12)。ヨハネは、第1章で復活したイエスの幻の中で、この剣がイエスの口から出ていると描写しています。この剣とは、イエスが語るメッセージ、すなわち神の言葉です。さらに、イエスは悔い改めない信者たちと「わたしの口の剣」で戦うと語られました(2.16)。「神の言葉」という称号は、ヨハネの著作の中でイエスの主要な呼び名です。

(2) イエスの霊的診断は、再び賛美から始まりました。信者たちは、サタンが活発に活動し、激しい迫害を扇動していた都市にいたにもかかわらず、迫害にもかかわらずイエスに忠実であり続けました。彼らは、たとえ仲間の何人かが殉教することになったとしても、イエスを否定して信仰を捨て去ることはありませんでした。イエスは特にアンティパスという殉教者について言及されました。

イエスはまた、この教会の一部の人々を二つの点で叱責されました。信者の中には、イエスの言葉への従順の基準を妥協し、他の人々にもそうするように勧めていた者がいました。旧約聖書(民数記22-24章)に登場するバラムのように、私利私欲のために神の言葉を買ったように、ペル

ガモンの一部の人々は他の人々に罪を勧めていました。イエスは地上での宣教活動において、真の王国の偉大さには、他の人々に良い模範を示すことが含まれると教えられました (DJN #137; MT 18:7-9; PT MK 9:43-50)。これらの信者たちはそれを怠っていました。それは愛の欠如でした。

イエスは、信者の中にはニコライ派の教えを固守する者もいると付け加えました。このグループが誰で、何を教えていたのかは分かりません。しかし、彼らの名前は「一般の人々、つまり信徒の支配者」を意味します。これは、信者の間で聖職者と信徒の分裂が始まったことを示唆しているのかもしれませんが。ある者は「司祭」、ある者は信徒」でした。いずれにせよ、イエスは公の宣教活動の最終日、すなわち受難週の火曜日に、信者を区別することの誤りについて激しく語りました。ペルガモンで何が起こっていたにせよ、イエスのこの言葉はそれを指し示していました。

5パリサイ人は、すべてのことを人々に見せるために行います。彼らは経札を広くし、衣の房を長くします。6 彼らは宴会では上座を、会堂では最上席を誇ります。7 彼らはゆったりとした衣をまとって歩き回り、市場で敬意をもって迎えられ、人々から『ラビ』と呼ばれたいと思っています。

8 しかし、わたしはあなたがたに命じて、ラビと呼ばれてはならない。あなたがたの師はひとりであり、あなたがたは皆兄弟だからである。9 また、地上のだれをも父と呼んではならない。あなたがたの父はひとりであり、その方は天におられるからである。10 わたしは、あなたたちに『指導者』と呼ばれてはならないと命じます。あなたたちの指導者には、ただひとり、キリストがいるからです。

11 「あなたたちの中で一番偉い人は、あなたたちに仕える者となるでしょう。12 なぜなら、高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高くされるからです。」 (ヨハネ260番；マタイ23章5-11節)

(3) それゆえ、イエスは、これらの態度に染まっていたペルガモの信者たちに、この二つの問題について悔い改めるよう命じました。そして、悔い改めない者たちに対しては、さらに厳しく、罪を自覚させる御言葉を語ると約束されました。

(4) これらの罪に打ち勝った者たちへのイエスの最後の約束は二つありました。一つは「隠されたマナ」、もう一つは白い石に刻まれた新しい名前です。「マナ」とは、神の御心を行うことによってのみ得られる霊的な力と養いを意味します。イエスは、ユダヤ教初期の宣教の終わりに、サマリアで特別な食物について語られました。

「私はいつも、あなたが知らない食べ物を食べています。私の食べ物です。」イエスはこう言われました。「わたしを遣わした方のご意志を行い、その御業を成し遂げることです。」（ヨハネ4:32,34）従順はイエスを支えた「隠されたマナ」でした。

新しい名が記された白い石は、生涯にわたる従順の結実である、キリストの似姿への人格の完全な変化を象徴しています。人々は人格の完全な変化を経験した時に新しい名を受けました。新しい名は、別の人格になったことにふさわしいものでした。イエスは私たち一人一人を、ご自身に似た新しい人格へと変えようとしておられます。これは、イエスの純粋な義を表す「白い」石となることによって示されています。信者一人ひとり、聖霊の宮、すなわちイエスの共同の住まいにおける「石」なのです。

新しい名前を授けられた新しい白い石は、忠実で従順な弟子が成し遂げた完全な変化を称える、イエスからの報酬でした。この貴重な贈り物にふさわしい者となるために何が行われたか、その全てはイエスと信者本人だけが知ることになります。それは二人だけの、特別な共有の秘密となるのです。

応用：

私たち信者は、イエスを唯一無二の情熱をもって愛さなければなりません（エフエソ）。その献身は、あらゆる迫害、特に殉教を、貴重な特権と尊厳として受け入れることへと導きます（スミルナ）。この至高の献身はまた、自らの模範が及ぼす影響に注意を払い、他者を愛するように導きます。私たちは従順を喜ぶ生き方を模範とします（ペルガモン）。これらの態度の一つ一つが、イエスから計り知れないほど偉大な永遠の報いを受けることにつながります。イエスは、アジアの七つの教会を通して、御言葉に注意深く耳を傾けるよう命じておられます。

イエスはペルガモンの一部の信者たちに、バラムのように他者を罪に導き、教会の中で他の人には与えられていない「地位」を求めて特別な評価を求めることについて警告しました。むしろ、イエスがすべての被造物の中で最も偉大な僕であるように、私たちもすべての人に愛をもって仕える者となるよう努めるべきです。

あなたが就くかもしれないリーダーシップの地位に対して、特別な評価を受けることを喜びますか？

様があなたに示した模範と同じでしょうか。ただ、規模は小さいでしょうか。あなたの模範は、人々をイエス様への従順から遠ざけてしまうでしょうか。あなたは悔い改める必要があるでしょうか。

、ペルガモンの教会を通して私たち一人一人に伝えられるイエスのメッセージを聞く上で極めて重要な部分です。

聖霊はあなたに何をすべきだとおっしゃっていますか？